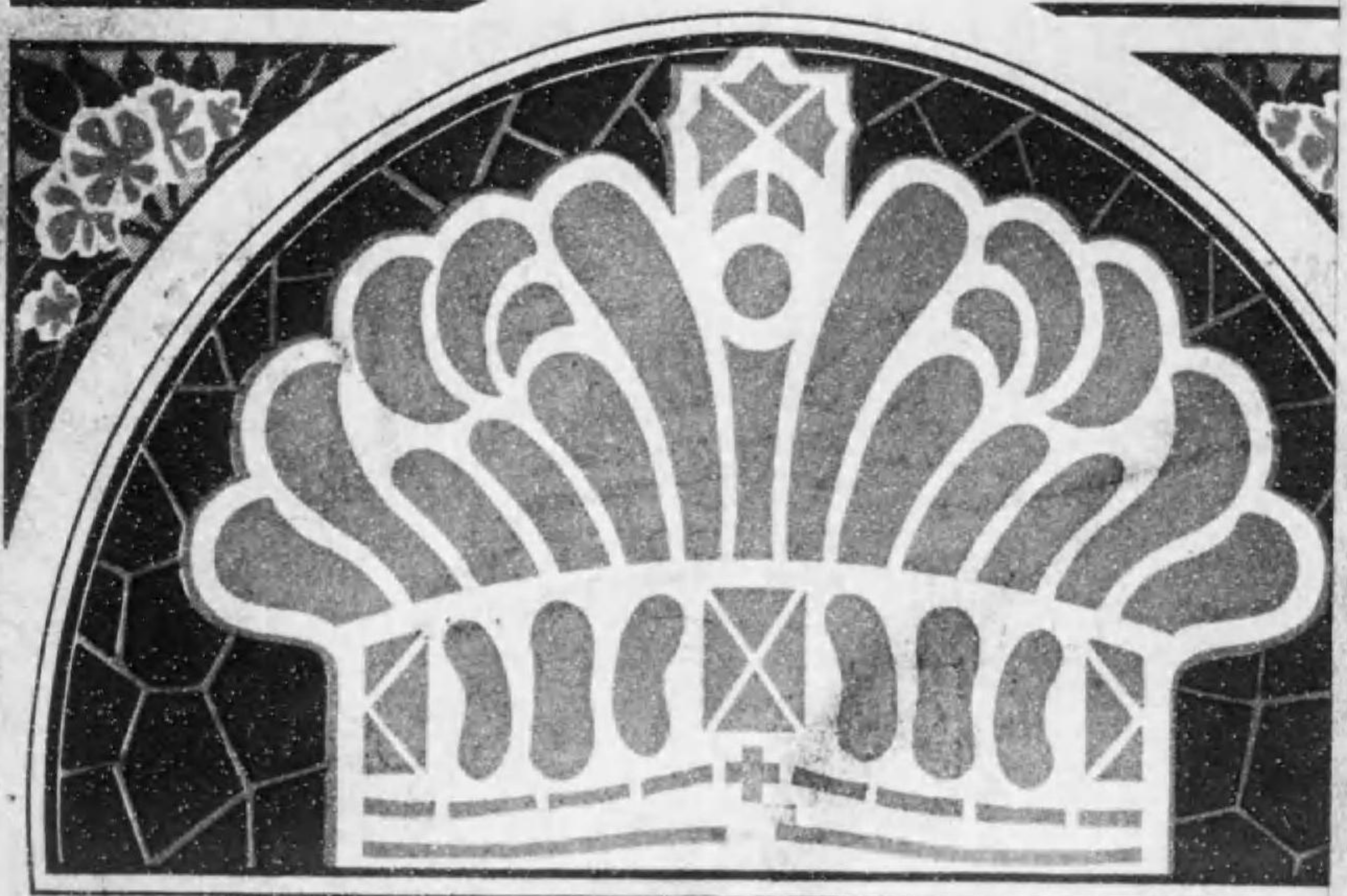


皇料型

特115
801



卷壹第

號壹第

国立国会
51.10.1
図書館

R. I. O.



始



物115
801

發賣

TRADE MARK



REGISTERED

ヴァニシユ

コーパル
サイス
ホテ
其他

特約店募集

飯田連庫本店製品部

論 說

發刊の辭

歐洲戰亂勃發以來全世界の産業界を攪亂し、需要供給の不均等は物價の暴騰或は激落の結果を呈し、殊に化學工業の如きは空前絶後の大影響を蒙るに至りたる事實は吾曹の言を俟たずして明瞭なり、かるが故に各國政府は或る種政策を施して以て是等産業界の欠陥を救済せんとするも俄に其手を下す處を知らざるの有様なり。之を以て見れば從來獨逸帝國が如何に世界工業を支配し來りたりしかを知るに足るべし、而かもその勢力は世界人の不知不識の内に何日か世界工業の眞髓に浸入せる潜勢力たりし事は戦争前誰か之を知りしぞ、獨逸帝國自身も斯る勢力の在否に就きて思念せざりし處なるべくして各國の窮状を見て私かに微笑を爲しつゝあるや論なし。然り而して各國は此の痛苦に逢着し俄に種々の研究機關を設け試作場を作り補助金を交付し。或は官民合同して事業に着手する等其の歸趣を一にすれども獨逸が幾多の日月と而して莫大なる犠牲を供して今日あるを得たる結果を納めんとす

發刊の辭

るは甚だ困難なると共に前途遼遠の事業たり。又た平和克復後獨逸の競争あると思へば。難又た難事業の前途に對し輕舉ある可からず。茲に於て各國は帝國主義に依據して獨逸と對抗するか、或は自然の成行に任ずるかは今後趣味ある研究問題たり。それ以上の如き工業界の有様にして我國とても獨りこの渦中より脱するを得ずして同一状態に呻吟するものなり。ペイントも化學工業の一部として其影響を免れず、吾人は此の際大に發奮研究を爲すべきの秋に會せり。然れども我がペイント界には機關としてジョーナルの見る可きものなく、研究を發表し公知せしむる機關なし而して一般にペイントの知識を普及せしめ得ざるは誠に遺憾とす。我國に於ては未だペイントの何者たるかを知らず、或又た之れに對し誤解を有するものなり。殊に是れを購求せらるゝ當局者が一般に之れを知るの程度少く爲めに應々間違の生ずる事を仄聞す。是れ皆ペイントに對する知識の普及せられざるに職由す、左れば之れが普及發達をはかるの意味に於て本誌を發刊する所以なり、乞ふ諸氏は本誌を利用して研究發表の機關とすと共にペイントに對する疑義を明にせられん事を、又た商家は本誌によりて歐米の塗料界の現状を知り、且つ内地に於ける塗料商況を知るの資料たらしむべし、以て發刊の辭となす。

學 術

グリスリンの新製法

Vinasses 即ち酒精類の蒸餾殘滓中には酸酵中に自然生ずるグリスリンを含む之れを抽出するに當て

- 一、殘滓の酸生作用を十分ならしむ即ち酸度を全からしむる事
- 二、之れを濾過す
- 三、之を煮詰めて舍利狀若くは糊狀と爲る迄濃厚にす

此濃液は冷却して殆ど固體と爲る之れ即ちグリスリン抽出の原料なり。

此原料に二百九十度内外の氣壓を加へてグリスリンを抽出し得るも此氣壓による直接抽出は不結果に終り即ち抽出液中に多くの泡沫(Mousses)を生ずるのみならず温度を三百度以上に高むる要ありて自

然に原料中に包める有機物と窒素性分とが分解を初め出來上りたるグリスリンが清澄し難き不純分を含むに至る。

下に記する處は如何にして此困難を除去するやを決するに在り。

先づセメント鋪石の場所に一定量の燒石膏塊を置き之れに粉狀石膏若くは石灰(其他反應を呈せざる粉狀物)を加へて輪形を作り其縁邊に燒石膏を高く排列する如くす而して其輪形中に燒石膏と稍同量の煮詰汁を注入す(其分量は固より煮詰汁(Sirup)の濃度により加減す)斯くて漆喰を捏る時に使用すると同様の道具にて此兩者を攪拌し齋質を有するに至る迄繼續し之れを暖室に移して乾燥せしむ(塊を爲す)此塊を搗碎器(Concasseur)即ち日常厨裡に於て用ふる珈琲磨碎器に類するものに入れて碎く又た此の塊を最初より轉回力大なる粉碎混和器に入れ粉末にする可なり。

此粉末に高度のアルコールを用ひてグリスリンを誘出し得る法もあれど普通單純なる真空蒸餾法を用ふる場合多し。

蒸餾装置は普通の蒸餾に用ふる蒸餾釜と凝固機との外に真空を作る爲の空氣ポンプありて其凝固機を通じて蒸餾釜中の空氣を抜き取る如くし又蒸餾釜は二重釜と爲り居りて點火を使用し得れど氣管に由りて熱蒸氣を送入し得る装置を爲し居れり。

工程、先づ鐵製の圓筒形なる釜(細き鐵帶にて編めるものにて底部には固より多量の細孔あり)に此粉末原料を入れ其釜を釣り上げて釜中に入れた緊密なる蓋を與へて其内部の空氣を抜き去り真空と爲す斯くて炭を燃して釜に直火を與ふるか又は同様なる熱度を有する熱氣を通じて間接に釜を熱するときは蒸餾作用を生ず但し間接熱法の製品は前法に比し不純物を含むこと尠なし。

茲に述べんとするは間接熱法にして先づ釜中に送

らんとする熱瓦斯が其通路にて通氣により外氣を攝取し二百度乃至二百四十度に低下し釜内に行く又釜の蓋上には真空測知器 (Manometre) ありて六十五乃至七十センチメートルを指すを要す又餘り熱氣の過度に入り込むを防ぐ爲め通氣栓の口を加減す熱氣は釜内の原料を作用して凝固器に移り行く。

最初は原料石膏中に含有せる少許の水分を蒸出し漸次に水分の終る頃より蒸出し初むるもの即ちグリスリンなり。

(凝固器は直管多條式なれど蒸出氣體は (Tubes) の中を通せずして其の外部に充滿し冷却用水が其の (Tubes) 中を通ずるもの、如し。)

斯くて乾餾の終るや釜中に空氣を通じ凝固器の下部に蓄積せるグリスリン液を受器に移すものとす。

此の液は不純物を含むが故に幾多の工程に廻して精製するものとす。

魚油の臭氣消除法

魚油に特有なる惡臭は窒素及アルコールの酸化有機物の存在に由るものにて之れが消除に關し從來幾多の試験行はれしが皆満足なる結果を奏せず即ち酸化用劑を用ひて魚油を處理し放臭物を中和する方法あれど其結果は同時に魚油の強盛なる分解を生じ鹼化價値を著しく減却する恐ありされど若し蒸餾法を用ふる時は魚油に加ふるに脂肪酸を以てし真空内に於て魚油の分解を生ずる程度に加熱するを要す即ち其方法は或種の脂肪又は魚油を分析して得たる脂肪酸を目的の魚油に注加し之れを真空蒸餾釜に入れ加熱し注加したる脂肪酸と揮發性物體との蒸出する迄繼續するものとす。

例へば日本魚油三百基に十五度の脂肪酸を入れ其れを一定の真空度(例へば二百十六度)に相應する低溫度に保ち出来る丈真空度を高めて分解を促し蒸

餾を爲し無臭と爲る迄繼續す而して此工程中に普通幾分残存する本來の脂肪酸は分離工程に由り取り去ることを得べく又注加したる脂肪酸の残分は魚油の冷却すると同時に結晶し只だ分解したるアンモニア臭の溶液が魚油中に残るものとす、此工程の繼續は約三十分間とす。

資 料

戰時に於ける獨逸の經濟

歐洲の戰亂が漸く持久戰に化せんとし何れも大なる進出なき折柄獨逸が如何なる戰時經濟を維持し以て是の持久戰を爲さんとするか、近來獨逸の食料問題に付き盛に論議せられつゝあるを以て此の種問題

は歐洲戦局を見るに於て観過すべからざる事に屬す
知らず獨逸は之れに對し如何の準備あるやを乞ふ佛
國經濟學者中獨逸通の第一人者たるブロンデル氏の
所説を聞かしめよ。

獨逸參謀本部が深謀密計一撃のもとに大勝を博せ
んとせし急撃的戦法も豫定の効果を奏せず遂に今日
の持久戦を見るに至りたるは既に是れ獨逸の敗因の
一を語るものなり、然れども佛・英・露も亦た今日の
持久戦を豫定せしにあらすして漫然戦前に至り急に
臨機の方策を廻らし應戦せし次第にて従つて此等の
者より見れば此根本計畫の齟齬も別段獨軍に對する
軍略上の勝利と傲すに足らず且つ獨人の長處は其
注意の周密なると用意の周到なるとに存じ例へば昨
年夏期中より早くも食料品の貯藏に焦慮せし形跡さ
へある程にして一の計畫にして縦し失敗に終るも他
の企畫を以て之れに代はらしめ其企圖の奇警なるよ
りも寧ろ着實堅固なるを擇ぶの風あれば旁々以て獨

國別	一九一三年	一九一四年
丁抹	六、〇〇〇・〇〇〇	六五、〇〇〇・〇〇〇
諾威	三、五〇〇・〇〇〇	八〇、七五〇・〇〇〇
瑞典	六、〇〇〇・〇〇〇	三七、五〇〇・〇〇〇
伊太利	三七、七五〇・〇〇〇	八五、〇〇〇・〇〇〇

右の如くスカンデイナヴィア諸國に對する輸出額
は大正二年の十一月には千五百五十萬法に過ぎざり
しに昨年は一億八千三百二十五萬法となり約十二倍
加せし次第にして又伊太利に對するものも約二倍加
以上となり而して假令戦時と雖右中立諸國の需要額
が斯く激増すべき筈毫も存せず即ち其増加額は全部
獨逸に移入せられし者と見て大なる不可なきが如し
斯く獨逸は其兵戰上に於ける成功に加ふるに糧戰
乃至財戰上に於ても克く外部の補助を得て着々國力
を涵養し加ふるに新に白耳義及北方佛蘭西の肥野を
併せて其戦時經濟は一層基礎鞏固なるを致せしやの
觀あるも今後果して限りなく目下の情勢を繼續し得

軍の現状を餘りに蔑視するは輕躁淺薄なる思索と言
はざるべからず、加之過去五ヶ月間に於て國外に居
住せる七百萬人の獨逸人が直接及間接に其祖國を援
助し之が經濟を裨補せしむこと洵に大なるものある
外米國及其他の諸國に歸化せし巨萬の獨人等も其國
籍こそ異れ其の歸化の原因が政治及宗教等の關係に
基きしにあらすして單に通商上の便宜に出でしもの
なるが爲め今も尙其母國を忘れずして其同胞の危急
に對し出來得る限りの助勢をなすつゝあるは甚だ較
著なる事實たらずとせず。

右の援助は世界到る處に居住する獨逸人より試み
られつゝあるが殊に北米合衆國よりせらるゝもの最
も多く其中立諸國を合して獨逸に向けられつゝある
貨物の如き開戦後實に夥しき數額に達せしと云ふ今
米國商務省の公表せし昨年十一月中に於ける米國よ
り獨逸に隣接せる諸中立國に送附せられし輸出品の
總計を一昨年同月に比し對照せば左の如し。

べきや否やに至つては甚だ疑問たらざるを得ず乞ふ
左に(一)人の損失(二)食料品の缺乏及び(三)金高及
製作品の減退に付項を分ちて論ずる所あらんとす。

(一)人の損失 米國學者の最も公平なる研究によ
れば獨逸の如き軍國主義の國に於ては其總人口の十
分の一迄を軍隊に徵募し得べく即ち其六千八百萬の
全人口中十八歳未満のものは事實上軍役に從事する
能力を缺くと共に政府も將來の國民の中堅力保存上
之れが從軍を許容せざるものとなし夫れ以上の年齢
を有する壯丁の實數を知らんが爲め今より十八年前
の獨逸人に六千萬人の基礎として計算せしに大體六
百萬人の兵員を募集することを得べし然るに開戦後
既に戦死負傷及捕虜等となりて踪失せし者の數は百
五十萬人に達する由なれば目下戦線に三百萬人後方
に百萬人の兵員ある點より推算し今後に於ける獨逸
の徵兵力は結局約五十萬人を餘すのみとならん。
右の如く獨軍の兵力は武器彈藥等の關係を一切度

外視するも尙遠からずして其兵員供給力の全部を盡すに至らんとする實情にあり加之一方には有爲の將校を多數に喪失し他には新兵軍の訓練頗る不完全なるものあり故に此上獨逸が如何に其兵員の利用及増加に苦慮し戦闘部隊以外のものは老幼婦女子及徴兵不合格者を以て間に合せんとするも其戦闘力は格別のことなかるべく今や將帥等は返すも急撃戦法によりて功を急ぎしが爲め無用に精兵を失ひしことを追悔しつゝあるならんか是に反し聯合軍側は露は姑く論外とするも佛と英とは終始逆撃戦のみを以て對抗せしかば兵員の損失は比較的多からず即ち獨軍の恃みし兵數の優勢は五ヶ月間の交戦の後必ずしも其の常に然かるを得ざる事となり聯合軍側をして少からず有利の地位に立たしめし之の觀なくんばあらずるゝ年にも自國產の農作物のみを以てしては到底五千萬人以上の人口を養ふこと能はず而して昨年は

其收穫必ずしも上作と言ふべからず即ち既往は兎も角今後は遠からずして食料の缺乏を感ずべきは甚だ賭易きの道理にして殊に開戦後其國民の生活頗る不自由となり下流民は別段苦痛を感ぜざるべきも上流及中流等の人々は食物の粗悪且つ單一なる到底長く現状に耐ゆべくもあらず即ち食料問題は豫期よりも意外に早く其紛糾を始めずとも限らず而して一度其爆發するや政府の強力も容易に之れを制壓すべからず何となれば是れ人性欲望の第一義なる生活其者と相表裏する大問題なればなり。

抑も歐洲中の最貧國なりし獨逸が何故に斯く急激なる進歩を爲せしやと言ふに其始因は主として其歐洲中央部に位置し河川交通の便比較的良好にして克く中央歐洲の農産物を大西洋に運搬し得たるに在り而して其民たるや萬事に注意深くして殊に學術發明の應用に長じ斯くして其工業は未知の勃興を爲し次で交通機關も整備し運河鐵道航海等何れも日新文明

の最進技術と組織とを採用し其外國貿易は未曾有の發展を遂げ其商工業は製造販賣の經營上強固なる大團結例へばカルテル等の如きを設立し軍隊的規律と不屈の精力とを以て之れを運轉し克く國運四海を壓するの概あらしめしが其發達の餘りに急激なる時に進むべき徑路を辿らず踏むべき階段を登らずして徒らに其進路の高遠なるを誇るの傾あり即ち生産の三要素中勞力の源泉たる食料品は其供給を外國に仰がざる可からずと共に資本と雖も固定資本は兎も角も流動資本は悉く之を外資に依頼することゝなり其經濟の根柢の薄弱なる之れを彼の七十年戦頃農業黨及保守派が牛耳を執り國家經濟の基礎頗る鞏固なりし當時に比すれば蓋し同日の談に非らずと言ふべし實に食料問題は前後二回の戦争に於ける帝國經濟を區別する要點にして學者の殊に心して其原因及結果の及ぼす影響如何に付討究せざるべからざるところに屬するものなり。

却説目下の獨逸食料品問題は如何と見るに由來獨逸人は麵粉を食すること多からず従つて之れを需要すること佛人の如くならざるに加へ近來官憲より切りに食物の節用を訓示せられ戦争麵粉と稱する馬鈴薯の澱粉を交へしものを常用に供しつゝあるが夫れにも拘らず物價の騰貴は實に凄しき許りにして八月來小麦は五割、大麦は七割五歩、玉蜀黍は十割方の暴騰を爲し牛酪の如き一リーヴル二麻五十布を唱へつゝある有様なり

政府は豫め此趨勢を洞察して穀物及各種の日常必需品に付戦時最高價格なるものを定め之れを強制的に實行せしめつゝあるも悪法日久しからずして其効力を失ひ穀物は自然と市場より其姿を隠し農民乃至問屋は種々の口實を設けて其所有物資を手放さず一般公衆又夫れとなく私に買蓄むるの傾向あり而して當局の苦心して起案せし法律も此生活上第一の必需品を阻止規律せんが爲めには種々脱漏不完全の個

所も少なからず到底其實行の十全を期す可からざる勢あり爰に於てか政府は遂に意を決して食料品を專賣となさんと企て此目的の爲めに一大會社を急設し以て一方に國內現存の生活必需品を買占めしむると共に其分配賣捌を公平となし長く國民の生計を確保せん所存の由なるが如何に軍憲の強力を以てするも其豫期の効果を初め得ざるは一方には農民と商工業者と根本より其利害及境遇を異にせるより他方には富者と貧者と各々其購買力に等差あるなり此雖然たる異分子より成る社會を一團となし以て其各分子の生活を均一にせんとするが如きはユートピアを語る痴人の夢のみ而して豌豆、蠶豆及米の類は皆敵國殖民地よりの輸入品なれば現存額は減少し居るなるべく若し強ひて專賣の目的物を索めんか國內に産額多き馬鈴薯位のものなるべく從て之れが實現を強要せらるゝのは頓て獨逸が餓餓を感せんとしつゝある際なりと見て大過なかるべく而して假令獨軍が食物

10
 缺乏の爲めに屈服するものにあらすとなすも之れをして長へに所謂戰禍なるもの、如何に悚るべきものなるやを覺知せしむるは世界の平和に對する聯合諸國當然の責務にして我に於ては又此機大に乘すべきものなるを識らざるべからず。

食料品の缺乏と共に秣の窮乏も亦た顯著なるが如し而して昨年十月中の屠殺畜類の統計を一昨年同月に比較するに牛は前年の六萬九千九百二十二頭に對し九萬二千二百頭豚は三十九萬四千五百五十一頭に對し四十八萬七千四百七十六頭に對して戰時糧食等の關係上多少其屠殺頭數の増加せん傾もあらんか又糧秣の不足止むを得ずして之れを屠殺せし形跡もなきにあらざるなり。

(三)金屬及製作品 獨逸が開戰の當初其後に及んでも所有手段を用ゐて金の蒐集に努力しつゝあるは人の之れを知らざるなり而して占領地人民より其所持金を強奪せしは言ふも更なり單に七月下旬に於て

のみならず近頃にも例へば中立諸國の金融業者を煽動して英佛等より密輸入しつゝある金貨は餘程の巨額に上るべしと信せられつゝあるが之れを大局より觀察せば此等の小細工を以て今更其貨幣制度の基礎を鞏固ならしめんと圖るも格別大なる効果はなかるべく反之其貸附金庫及各工業團體ことに設立せられたる融通金庫の妙用は克く通貨の缺乏及信用の停止を防止し得たるが如きも同時に麻紙幣の價格を國外市場に於て下落せしめ外貨の輸入を必要となす獨逸をして思掛げざる不便を感せしめしこと其得失遽に判知し得べからざるものあらしめき。

諸鐵物中鐵・銅・鉛・アルミニウム・ニッケル・石油の缺乏は顯著なる事實なるが鐵は佛國のブリエー鑛山をも採掘し銅は其價格戰前に倍加し今や狂者の如く之が探索に力を竭し石油はガリシー及羅馬尼よりの輸入減絶して自動車運轉にさへ不便を感じつゝある由なり。

諸工業中造兵會社は大に繁忙せるも夫れも大規模のものゝみに限られ小工業等は却て疎外せられ鑛業は採掘額思はしからずウエストファリーのドルトムントにても最近三ヶ月間の採掘額一昨年の同一期間中の三萬二千七百噸より二萬千噸に減退し化學工業中爆發藥製造のものゝみは活況を呈しつゝあるが硝石の不足を訴へつゝあるものゝ如し織物業も軍隊用品の製造を除けば概して不況にして陶器及玩具の製造業に至つては昏睡状態にありと言ふ斯く國內産業の不況なるは主として其經濟組織の結果ならむも又政府の干渉程度に過ぐるに由らざるなし。

次に外國貿易は大正二年の二百十億法に對し昨年は前半期のみは常態を保ちしが後半期は實に七割五分の激減を爲し然かも其殘額は大部分軍需品及食料品の輸入により充たさざるべければ其經濟困乏の狀之を推察するに難しとせず今若し獨逸に富裕なるものを求めば獨り砂糖の存するのみなるべく而して

糖類は大得意たる英國市場を失ひしがため國內の在荷は山積し政府は牛酪の價格暴騰せる際として切りに其滋養分に富める旨を説き之れが食料を獎勵しつゝありと云ふ。

結論

余が確かなる筋より聞込みたる處によれば獨逸政府は少くとも食料品に關しては戰期を八乃至十ヶ月と假定して之れが用意を整へしものなるが今や白耳義及北方佛蘭西の占領地に在りし蓄積額を合すれば開戦後一年位は何とか其民衆の生活を充足せしめ得べく而して萬一此時期にして経過するも尙交戦の繼續するあらんか其經濟的敗徴は早くも其萌芽を現すなるべく尙近來家賃問題が漸く沸騰し始めしが如き或は其先驅とも看做し得べく何れにしても新年と共に獨逸の經濟が衰運に向ひ始めしは之れを看取するに難からざるなり。

修養

施惠 細 連

近來德教すたれ宗教の權威が地に落ちてしまつた僧侶達の管主爭奪戰乃至は本願寺派の紊亂等の醜態曝露は遺憾なくこれ等を語るものである、口に佛の道を教へ衆生を濟度せんとするも自らを修するの道を知らざる様では以て人を導き得ないのは理の當然である。思ふに世界文明の威力は萬人を驅つて物欲を熾烈ならしめ滔々懸河の勢を以て物質擷得の一事をのみ思念するに至らしめ茲に排外思想の根柢を作るに至つたものである、個人の心底に横はる此の思想は一轉國家の思想となり各國が此の思想によりて政策を立て世界交通を爲す何ぞ衝突なきを得んや、此れ今日有史以來の大活劇を歐洲に見る所以である排外思想は即ち我利主義である。排外は愛他の正反

對である。従つて物質欲の増進に個人對個人乃至公人との軋轢を醸成するのである、而して金力が跋扈する世の中となる。茲に貧富の懸隔を生じ大は益々大に小は益々小になる結果となりそこで社會問題起り社會救濟の叫び聲を聞くに至る。一體人間の欲望の内尤も大なるものは生活欲であるから種々の壓迫によりて生活欲を害せらるゝ時動もすれば徳に反し天下の法を犯すに至るは自然の成行であるが故に識者はこれ等に對し大なる注意を拂はねばならぬ。そこで此の趨勢を挽回して社會の圓滿なる秩序を得んには幾百の法の力も駄目である。これはどうしても各個人の心の修養から取りかゝらねばならぬ。彼の亞米利加に於て法律を以て富豪征伐をしたが却つて富豪の結束を固めより強大なるコンビネーションを爲して是れに對抗せしを見ても知れる。であるからこの意味に於てこれからこれ等の問題を提げてすこしばかり筆を執つて見る。

施惠は物を恵むことのみを云ふものではない。即ち人に徳を施すことである。情をかける事である。俚諺にも情は人の爲めならずと言ではないか、人間は活物である、世界の運行にも種々の變化がある、又は人の身には運勢といふものが養つて居るものであるから生あるものは死し形あるものは破るの日はいつか一度は來るものである、今日堂々たる店舗も明日は閉鎖し門前草茫々たるあり、破衣乞食の一羅漢一夜にして銀燭燦然たる殿堂に住むあるべし富のある處人皆よるべしと雖も落魄すれば最早路傍の人として顧みないのが現世の状態である此の時に當つて初めて人の情を知るものである。であるから自分が出来る時には人に徳を施して置くべきものである此の時の情は即ち人の爲めではなくて自分の爲めであつた事が其轆轤不遇に泣く時に初めて知れる、筆者の知人に其全盛時に餘り豪放を極め下の者を眼下に見下す處ありしが近來不幸續きにて非常に落魄し衣

食に窮乏する有様知人相寄りて寄贈を爲さんとすも心よく之れを諾するものなしこれ何か爲めである皆自己が全盛時代に求めた罪であるから大に心せねばならぬ、凡そ人の上に立つものは清濁併せ呑む氣概がないと駄目だ些細な事に耳目を動かし人を責め若しくは退く如きは其當を得たものでない、人の惡しみを受ける事それはその人の徳の至らざるが爲めである。殊に商家にありては此點は尤も慎まねばならぬ。人に疎せらるゝによりて利益を失ふ事は寡なからざるものである、人は十人十色にして各長所あり短所がある、其長所を見抜いて之れを其衝に當らしむる事は人を利用するの妙を得たるものにして慥に非凡の人である、良工は其材を捨てずと云ふ諺があるが、全く其曲れるも短きもそれに相應する用所があるものだ、騏驥にも一蹶の誤りがある、人も其理を離れないのである假令小過ありとするも之れを餘りとがめ立てず其の小過をゆるして賢才を見る

べきものである完璧を望むは人に蒞む所以でない一長一短を有するは人の性である、此の理を明にし平素人に惠を施せば福利自からにして來る、目前の利に吸々として隣人に對する情を思はなかつたなら其の人は得る處がすくない。此の計算は利發ものでもいつか其理性の上に霞せられて茲に思を致す事が出來ないものであるから良く頭を冷かにして考ふべき點ではあるまいか、山はちひさき壤をゆづらざるが故に高きを爲し、海は細き流れを厭はざるが爲めに益々其深きをいたすのである。

恐れ多き事ながら昔仁徳天皇は三年の間貢物を止めて民の烟の賑へるを悦ばせ給ひ、一條院は冬の夜衣を脱で四海の民を思ひやるに吾獨り温かなるべからずと仰せられたさうだ、今の世に斯くまであはれみを持てるものは誠にすくない、自分は暖衣飽食しても他の者には粗食薄衣の悲みに泣かせ利を積むもの多き世の中であるからこれから後の世の中にはど

うしても社會主義あらはれ社會問題が頻出せなければならぬ。

昔小野小町が若くて色を好みし時兎や角と人にもてはやされたので小町殿天下の美人は吾れを置いて他になしと王侯貴人の秋波も何かはと盛に好色男子をあやなした其勢は三皇五帝の妃も漢王周公の妻もいまだ斯うしたおごりはせなんだといふ事が北衰記に書いてある左れば衣には錦繡綾羅を重ね、食には海陸の珍を調べ、身には蘭麝を薫じて口には和歌を詠じて男子などは、男子とも思はず賤んだとして女御後に心をおかけた、いや人間の己惚位おそるべきものはない兎角人間は順潮にある時鼻を高くしたがる習癖がある、小町は斯くて十七に母を失ひ、十九に父におくれ、廿一にて兄にわかれ、二十三にて弟を先立たせ全く孤獨の身となり頼む影とてなく全盛日々衰え艶麗花をあざむく容姿は自然色退せ、家は破れて月の光空しく住み、庭はあれて蓬のみ徒らにしげる

様になつた遂に文屋の康秀に誘はれ三河に下り

佗びぬれば身を浮草のねを絶て

誘ふ水あらばいなんとぞ思ふ
 などよみて次第におちぶれ遂に野山にてのたれ死をする様になつた、これ等は全く日頃の心がけの悪い爲めである。其末期に於て如何なる懷舊の心に自己の過去を思うたのであらう、左しも驕りになれて人を人とも思はざる小野小町も落魄しては「浮草の根を絶て」と啣たしむるに至つたのは嗚呼思へば惻隱の情に忍びない、これを思うても吾れ人は平素の心がけが肝要だ。

相場表

第一類 白鉛ベイント

電信略號

品

名

定

價

イイイイイイ
ヘホニハロ〇

ハバツクス向獅子印

船
印印印 B A 印

九、〇〇〇
七、七〇〇
七、一〇〇
五、五〇〇
五、〇〇〇
三、二五〇

第二類 白鉛ベイント

イイイイイイ
ラルヌリチト

ハバツクス向獅子印

印 C B AAA 印

五、八七〇
五、三〇〇
四、九五〇
四、五〇〇
三、二五〇

第三類 各色ベイント
〇紺色

イイイイイ
レタヨカワ

向獅子印

同同冠同
印
ライク紺

七、〇〇〇
六、六〇〇
六、二五〇
三、五〇〇

〇青色

イイイイイ
ラナネツリ

向獅子印

同同冠同
印
ブリテツドル

品切
六、五〇〇
五、九〇〇
四、九〇〇
三、五〇〇

〇黒色

イイイイ
オノウム

冠印

同同冠
印
ブランドルスベンス

四、八〇〇
三、一〇〇
二、八〇〇
二、七〇〇

〇其他

イイイイ
セモヒシ

冠印

同同同
マストカ
チートカ
ララ

三、九七〇
四、四八〇
四、六〇〇
四、三〇〇

第四類 調合製ベイント

イイイイ
アテエコ

印

ブランドルスベンス
印

四、五〇〇
二、九〇〇
二、七五〇
二、六〇〇

〇赤錆色

イイ
キサ

冠印

同冠
印

三、〇〇〇
二、七〇〇

〇赤色

イイイ
ミノユ

冠印

同同冠
印

一〇、五〇〇
五、二〇〇
四、六五〇

第五類 瓦斯ホルダール用ベイント
石油スターク

ロロロロロ
ワラルヌリチト

白色塗具

鼠色同
各色同
茶褐色塗料 A六〇封度
同
ライトオークカラー五基入
ミッドルストンカラー同
インデアレットドカラー同
黄色メッター七基入
白色同
黒色三基入

三、八四〇
四、一〇〇
二、五〇〇
一、二〇〇
一〇、四〇〇
三、三八〇
三、五〇〇
三、〇五〇
八、二〇〇
一〇、六六〇
五、〇〇〇

力	冠印	鼠色	一	四〇〇
ヨ	同	白色	同	五〇〇
タ	同	黒、青、等	同	三五〇

本品ハ一種ノ調合製ベイントニシテ特ニ防錆ベイントトシテ製造セラレタルモノナリ

第六類 船底塗料

レ	金帆	前印	一	六五、〇〇〇
ソ	スタンダード	同	同	四二、〇〇〇

第二部 光明丹

〇レッド、レッド二十八封度入

ツ	ハバツクス	向獅子印	一	五、〇〇〇
ネ	同	同	二	四二〇〇
ラ	同	同	二	四〇九〇
ウ	同	同	二	四〇〇〇
ム	同	同	二	三九〇〇
ナ	同	同	二	三八〇〇
ウ	同	同	二	三、八〇〇

〇百斤銅古入

ノ	鯨	印	一	一九、一〇〇
オ	同	同	二	一八、一〇〇
ク	同	同	三	一七、一〇〇

第三部 ドライヤ

第一類 糊状

〇二八封度入

ヤ	ハバツクス	向獅子印	一	七、〇〇〇
マ	同	同	二	五、五〇〇

〇二封度入

ケ	ハバツクス	向獅子印	一	五、〇〇〇
フ	同	同	二	四、〇〇〇

第二類 液状

〇二封度入

コ	旗	印	一	八、〇〇〇
---	---	---	---	-------

本品ハ液体ナルガ故ニ使用上尤モ便利ナリ
 〇ボイル油ニ容易ニ混和溶解ス乾燥力強キヲ
 以テ少量ヲ以テ足り塗上後ノ効果ヨシ

第四部 諸油

第一類 ボイル油

〇五噸入鐵丸罐

エ	ハバツクス	ベール	一	一三五〇〇
テ	同	同	二	九六〇〇
ア	同	同	三	九三〇〇
サ	同	同	三	八八二〇
キ	同	同	三	八四〇〇

〇石油罐詰

ユ	冠	極上	一	七六〇〇
メ	同	同	二	七四〇〇
シ	同	同	三	七〇〇〇
ヒ	同	同	四	六六三〇
モ	同	同	五	五八〇〇
セ	同	同	五	五二〇〇
ロ	同	同	四	四二〇〇

第三類 機械油

〇壹斗入二罐一函ニ付
 日本石油會社製品

ホ	スピンドル	油	一	三八〇〇
ヘ	同	同	二	四、〇〇〇
ト	同	同	二	四、〇〇〇
チ	ホワイ	油	一	四、五〇〇
リ	同	同	二	三、八〇〇
ヌ	同	同	二	五、五〇〇
ル	同	同	二	三、六〇〇
ワ	同	同	二	四、〇〇〇
カ	同	同	二	四、〇〇〇
ヨ	同	同	二	五、九〇〇
タ	同	同	二	六、九〇〇
ヨ	同	同	二	一一、九〇〇
カ	同	同	二	三、八〇〇
ワ	同	同	二	三、八〇〇
ハ	同	同	二	一二、五〇〇



礦油

相場表

ニ オ	第一類 コーバル	第六部 ワニス					○ターベンタイン二斗壹函	第五部 テレメン油				
		同	同	同	冠	船		ロ	カ	テ	揮	種
イ	グ	ハム(繪紙)lg	別	三	二	一	油	油	油	油	油	油
五	六	〇〇	八	〇〇〇	一	四	五	〇〇	一	五	五	〇〇
							至	自				
							四	一				
							〇〇	〇〇〇				
							〇	〇〇〇				

ニ ビ	第三類 ポターワニス	シ ミ メ ユ キ サ ア テ					第二類 サイズ	エ コ フ ケ マ ヤ ク							
		同	同	冠	三	ア		同	同	同	冠	三	ア	同	同
冠印	フ	エ	ニ	ツ	シ	ン	略	駝	ナ	略	駝	ナ	略	駝	ナ
lg			1/4	1/2	"	"	1g	1/4	1/2	"	"	1g	1/4	1/2	
一	三	五	〇〇												

二一

相場表

ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ																			
同	同	赤	同	ダ	同	ホ	黒	同	赤	ト	同	同	同	黒	同	同	赤	黒	赤
同	同	マ	シ	ン	油	ホ	エ	同	エ	ラ	同	同	同	シ	同	シ	グ	グ	赤
三	二	一	二	一	二	一	二	一	一	一	特	三	二	一	三	二	一	一	一
號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號
三	四	四	四	五	四	四	四	五	五	六	四	五	六	七	六	七	八	九	一〇
九	六	六	八	一	四	八	五	六	六	八	三	四	二	二	六	四	四	〇	二
六	二	八	四	六	四	〇	六	四	四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

ニ カ	第四類 雜油	ワ ラ ル ヌ リ					第四類 雜油	ハ チ ト ヘ ホ ス セ モ ヒ シ ミ メ ユ											
		同	同	馬	同	鯨		同	磨	同	車	同	白	同	同	ス	モ	黒	同
桐	荏	同	油	油	油	油	油	油	油	油	油	油	油	油	絞	代	用	絞	代
油	油	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	三	二	一	三	二	一	一	一
號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號
四	四	四	五	四	一	一	四	五	四	三	四	四	四	四	四	三	三	三	三
二	二	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

二〇

チ リ	チ 又	チ ル	チ ラ
同	タツクス、バツキング	アスベスト、バツキング	アスベスト、ヤーノン
一分厚	各	各	各
二、五〇〇	二、五〇〇	二、五〇〇	二、五〇〇

第九部 磨研布、紙類

チ ワ	チ カ	チ ヨ	チ タ
グピス向獅子印エメリー、クロス	向 虎 印エメリー、クロス	同	青紙エメリー、バーバー一枚
一四、五〇〇	一、〇〇〇	五、〇〇〇	〇、八〇〇

第十部 刷毛各種

第一類 ベイント刷毛
 (意注) 印ハ弊店ノ登録商標ニ有之候
 坊間擬物數多有之候得者充分御注意相成度候

チ ソ	チ レ
同	筋
違	二寸
一寸五分	一寸五分
二七〇	三、五〇〇

◎御用命ノ際ハ筋違又ハ人形ト云フガ如ク各刷毛ノ種類ヲ御記載相成度候

寸	法	本	通	半	切	南	京
二寸	四、二五〇	二、五五〇	二、四二〇	二、四二〇	二、四二〇	二、四二〇	二、四二〇
一寸八分	四、〇〇〇	二、三五〇	二、〇六〇	二、〇六〇	二、〇六〇	二、〇六〇	二、〇六〇
一寸五分	二、五五〇	一、四五〇	一、三二〇	一、三二〇	一、三二〇	一、三二〇	一、三二〇
一寸二分	二、二〇〇	一、一〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
一寸	一、五二〇	九、九〇	七、四〇	七、四〇	七、四〇	七、四〇	七、四〇
八分	一、二一〇	七、四〇	六、一〇	六、一〇	六、一〇	六、一〇	六、一〇
六分	八、三〇	六、一〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇
五分	六、六〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇
四分	六、六〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇

◎其他各種有之候得共茲ニ略ス

チ メ	チ ミ	チ シ	チ ヒ
筋	文字筆看板用	同 鐵道用	畫 筆
引 自壹號至五號	大 中	小 三	本 一組
一、五〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇

チ ツ	チ ネ	チ ナ	チ ラ	チ ム	チ ウ	チ オ	チ ク	チ マ	チ ケ	チ フ	チ コ	チ エ	チ テ	チ ア	チ サ	チ キ	チ ユ
筋	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一寸二分	一寸二分	一寸二分	一寸二分	一寸二分	一寸二分	一寸二分	一寸二分	一寸二分	一寸二分	一寸二分	一寸二分	一寸二分	一寸二分	一寸二分	一寸二分	一寸二分	一寸二分
二、九〇〇	二、五〇〇	二、二〇〇	〇、八〇〇	〇、六〇〇	〇、五〇〇	〇、五〇〇	〇、五〇〇	〇、五〇〇	〇、五〇〇	〇、五〇〇	〇、五〇〇	〇、五〇〇	〇、五〇〇	〇、五〇〇	〇、五〇〇	〇、五〇〇	〇、九〇〇

◎端數御入用ノ際ハ何號又ハ大中小御指定被下度候

チ セ	チ ス	チ ヌ	チ ル	チ ワ	チ カ	チ ヨ	チ タ	チ レ
白毛ワニス楕圓形	同ワニス用サシツール	同ベイント用丸形	同ベイント用サシツール	同ベイント用サシツール	同	同	同	同
一號	七號	一號	二號	九號	七號	四號	一號	二號
二、〇〇〇	六〇〇	一、二〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

◎以上ノ外如何様ニモ調製可仕候
第十一部 電氣絶縁物
 ○グリフエス、ブラザー會社製

製 作 品

電氣軌道及鐵道用品
 船舶、鑛山、紡績用品
 瓦斯發生機、及石油發動機
 電 働 機、發 電 機
 農 具 用 品
 其他諸機械部分品一切

可 鍛 鐵 專 門

關 西 鑄 鐵 所

工場主 **角 谷 元 三 郎**

創 立

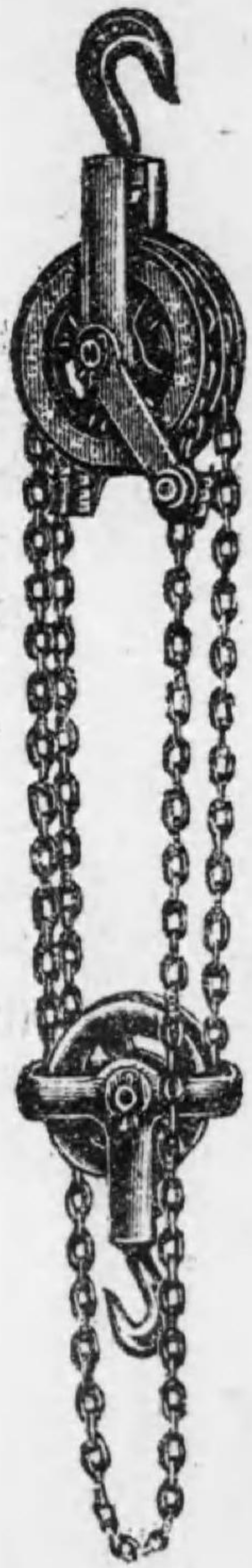
明治三十七年二月

東京市日本橋區本石町四丁目壹番地

販賣所 **飯 田 連 庫 商 店**

工 業 部

電話本局 長七五貳
 二〇二九

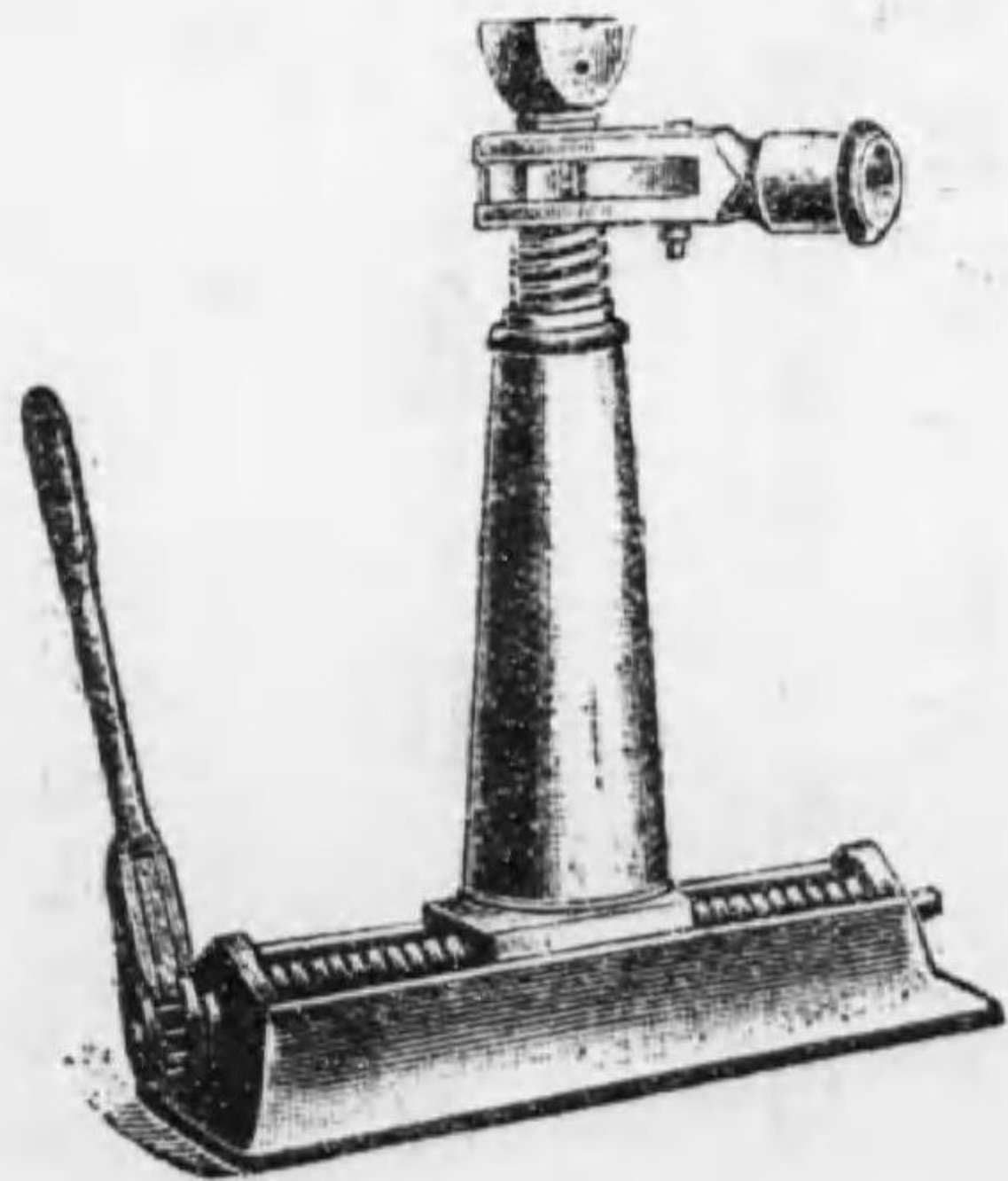


送 ジ ャ ッ ク

六 屯 ヨ リ 貳 拾 屯 迄

御 照 會 次 第 定 價 表

送 呈 可 致 候



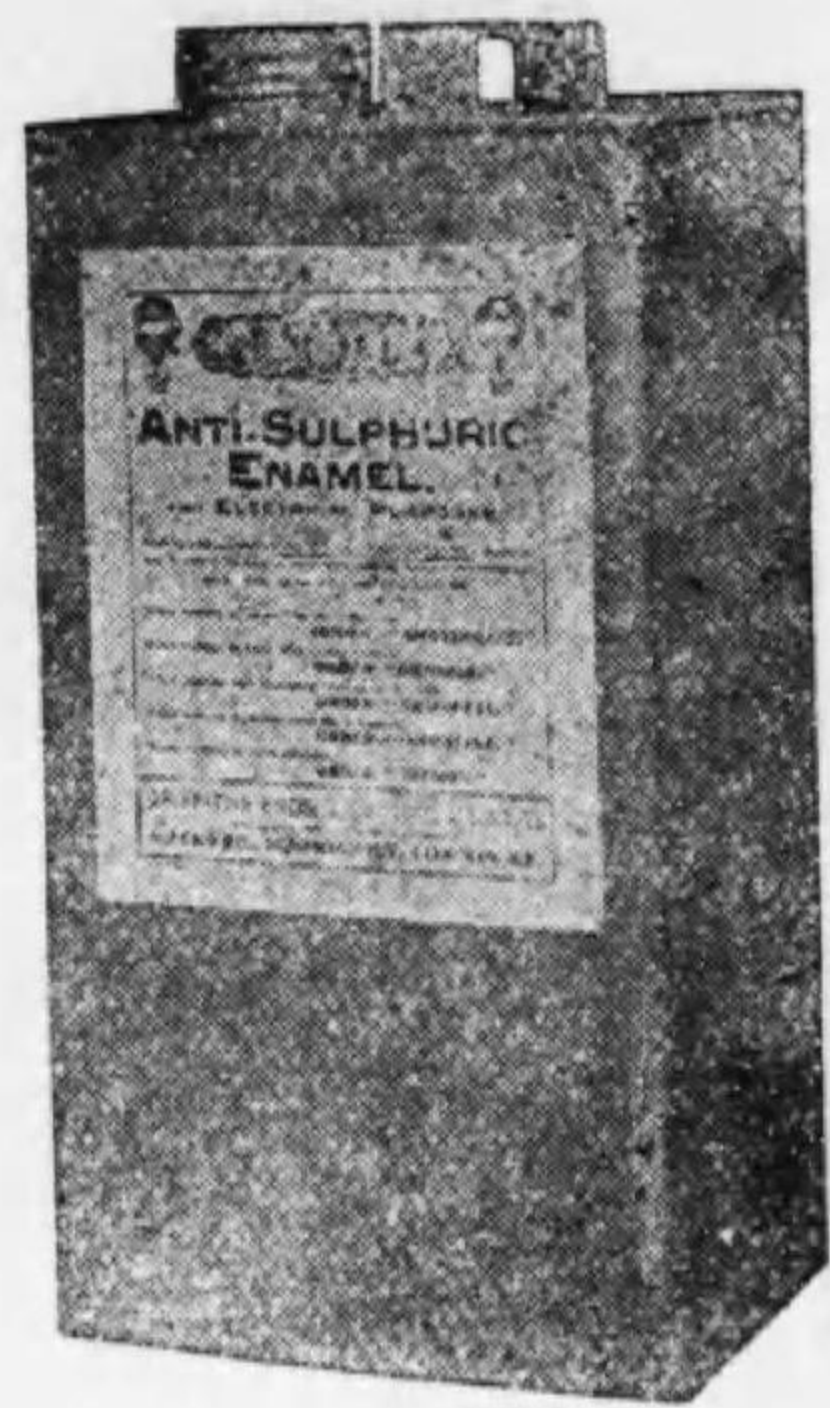
キ エ ン プ ロ ッ ク

一 五 屯 ヨ リ 五 屯 迄

貯 藏 豊 富

試 験 證 明 書 添 付

"ANTI-SULPHURIC" ENAMEL.



本邦最近
御使用先

陸海軍、逓信省、鐵道院、東京電燈株式會社、京濱電氣鐵道株式會社、三重紡績株式會社、飯島變壓器製造所、住友若松炭業所、東京計器製作所、神戸川崎造船所、東京市電氣局

逓信省電氣試驗所御試驗濟

英國グリフエス、ブラザー會社製

十箇年保證

用途

配電所、蓄電池室
電氣機品、其他酸類
直接又ハ酸氣瓦斯ニ依
テ浸蝕ヲ被ルベキ物體

定價 一哦 金拾五圓

祝 發 刊

製 造

テレメン油
テール油
クレオソート
瓦斯ペンゾール
ナフサ
コールタール

コーバル、ワニス
ゴールド、サイズ
黒ワニス
フルニス
瓦斯ビッチ
松根ビッチ



東京府下荏原郡南品川宿西廣
合資 大正テレメン製造所
會社

東京市日本橋區本石町四丁目一番地

一手販賣

飯田連庫本店

電話本局 二長〇七五二九番

價格

品質



溶解



ペンキ

低廉

優良



祝 發 刊



創立明治貳拾壹年

大阪市西區西野下之町

大阿部ペイント製造所

電話土佐堀 八三五番

壹ヶ年産額貳百萬圓也

WHITE ZINC PAINT

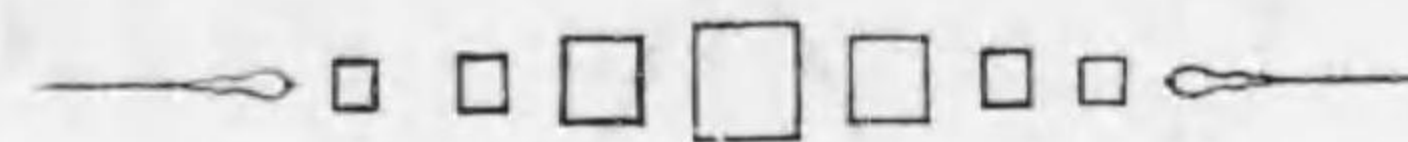
鐵管の接合、機械取引用とし
ては尤も經濟的塗料なり



價格低廉

TOKYO OWARIYANDA

CROWN BRAND WHITE ZINC PAINT



廉價供給

亞鉛ペイント



終



ペンキハ

誠實熱心勉強

ヲ旨トスル

尾張屋ニ限ル

發行所

東京市本町三丁目一番地

金

子

印

止